

# 公文書館の整備について

## 1 公文書館の建設について

現在進めている基本・実施設計での検討状況及び公文書館整備基本計画（以下、「基本計画」）からの変更点は以下のとおり。

- ✓ 各諸室の精査や平面計画の合理化により、面積を6,900㎡→5,100㎡と縮小
- ✓ 収容箱数を91,000箱→76,000箱とし、移動棚を縮減
- ✓ S造（鉄骨造2階建）とすることで平面の有効活用度を向上
- ✓ 入館直後に受付を配置し、資料閲覧までの動線を単純化
- ✓ マイクロバスが駐車できるスペースを確保
- ✓ 建築工事費、設備工事費等の積算（※金額精査中）



外観



内観

## 3 スケジュール

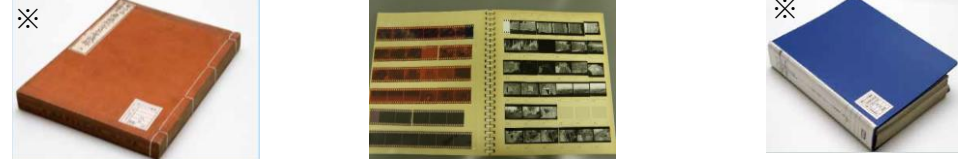
	R 6 (2024) 年度				R 7 (2025) 年度				R 8 (2026) 年度				R 9 (2027) 年度				R10 (2028)			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月			
基本・実施設計	基本・実施設計等																			
解体（別事業）	解体設計				解体工事												開館			
公文書館の建設									業者選定準備等								建設工事			
特定歴史公文書等のデジタル化	← 関係課協議 → コンテンツ制作 → 企画展準備 →																デジタル企画展			
公文書館システム構築	← 関係課協議 → 導入 → データ移行 →																1			

## 2 公文書の適正な管理と利活用

### ● 特定歴史公文書等のデジタル化

- ・基本計画に基づき、特定歴史公文書等をデジタル化し、来館することなく、いつでもどこでも公文書を閲覧できる環境を構築する。
- ・開館時にはデジタル企画展を開催予定。

デジタル化対象資料のイメージ



※：【出典】(有) 東京修復保存センター特定歴史公文書等の解綴・再製本に伴う資料形態別留意事項調査報告書

### ● 公文書館システムの構築

- ・目録検索システム等、複数の既存システムを統合し、書庫管理機能を備えたシステムを構築することで、資料検索をより容易に。

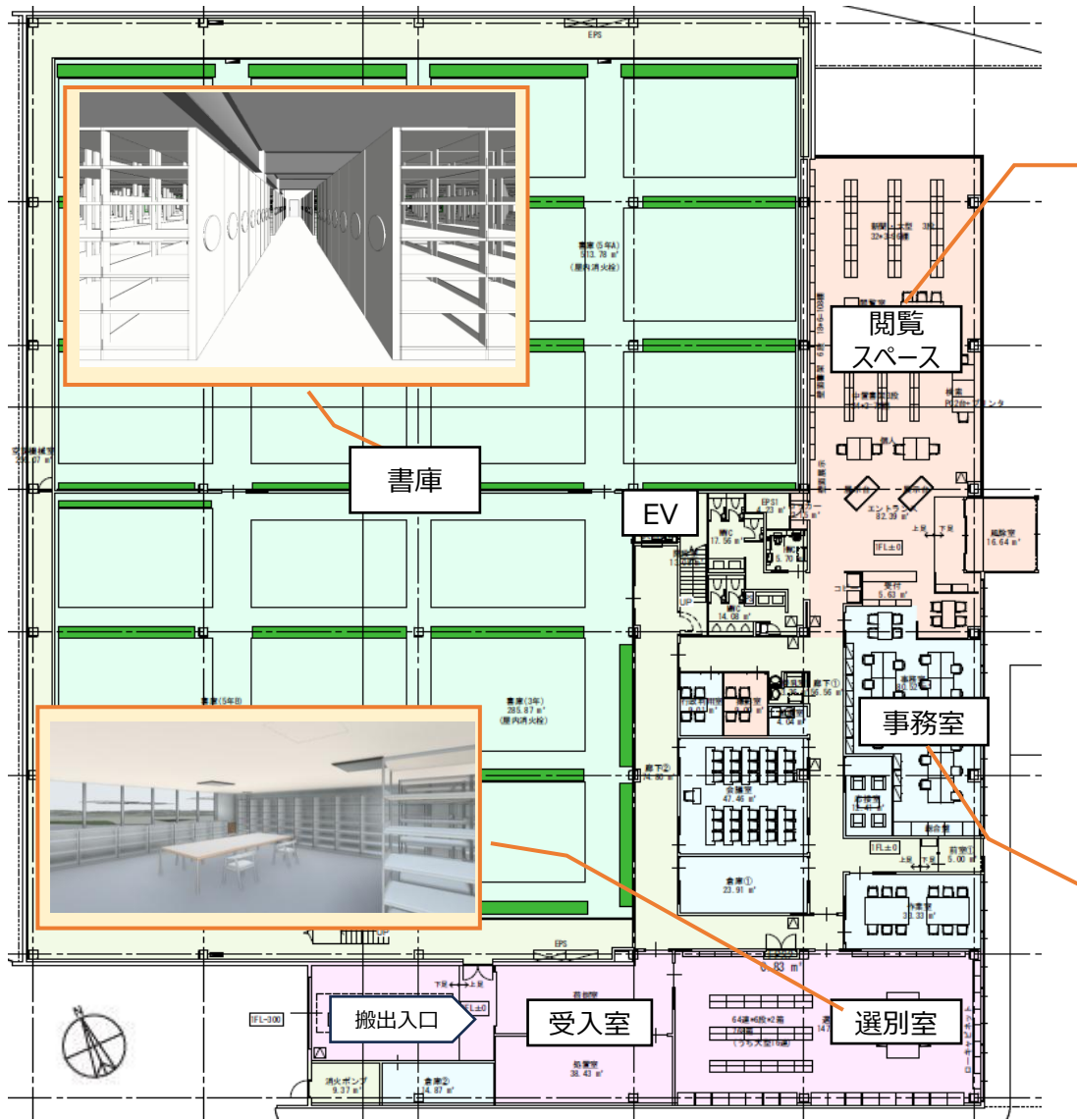
### ● 認証アーキビスト※の養成

※：国立公文書館長が認証する専門職。全国355名、熊本県内2名

- ・公文書の適正な管理・保存・利用等のため、専門職員「認証アーキビスト」を研修等を通じて養成する。

# 【参考】フロアイメージ図 - 1階 -

## 1階 ～市民利用と執務フロア～



※ 画像はイメージです。

# 【参考】フロアイメージ図 - 2階 -

## 2階 ～重要な文書及び資料保管フロア～

